

森永乳業の育児ニュース『エンゼル 110 番レポート第 82 号』

「2018 年 年間統計」

森永乳業は、時代とともに変化する母親像の理解に役立つことを願い、1993年4月から「エンゼル 110 番レポート」を発行しております。この「エンゼル 110 番レポート」は、育児相談窓口「エンゼル 110 番」への相談内容から、毎回育児に関する傾向についてまとめています。

エンゼル 110 番は 1975 年 5 月に開設し、2019 年 5 月で 44 年を迎えます。開設当時の 1970 年代は、いわゆる「団塊の世代」の出産期が継続しており、大家族から核家族へと育児をめぐる環境が大きく変化した時代でした。そこで森永乳業が「子育て奮闘中のママたちのために何かお役に立てることはないか」と考え、育児用ミルクメーカー初の育児相談窓口として開設したのが「エンゼル 110 番」です。

今までにお受けした相談件数は約 96 万件(2018 年 12 月現在)にのぼります。相談者は主にママですが、最近ではパパやおじいちゃん、おばあちゃんにも広くご利用いただいています。2014 年からはフリーダイヤルで国内の相談を受けています。さらに、フリーダイヤルが利用できない海外から国際電話をいただくこともあります。

今回は、2018 年の年間統計をもとに、相談の傾向をレポートいたします。

【主な統計結果】

- 2018 年相談件数は 14,859 件、1 ヶ月平均は 1,238 件
- 認知経路は「インターネットで検索」が 46.3%と増加
- 低月齢の子どもの相談数が減り、1 歳以上が全体の 46.0%を占める
- 相談内容で最も多かったのは「相談者自身の気持ち・メンタル」

◇エンゼル 110 番 電話相談運営概要◇

相談対象	妊娠中～小学校就学前まで
相談員数	21 名(保健師、管理栄養士、心理相談員など)
ウェブサイト	http://www.angel110.jp/

エンゼル 110 番レポート VOL.82

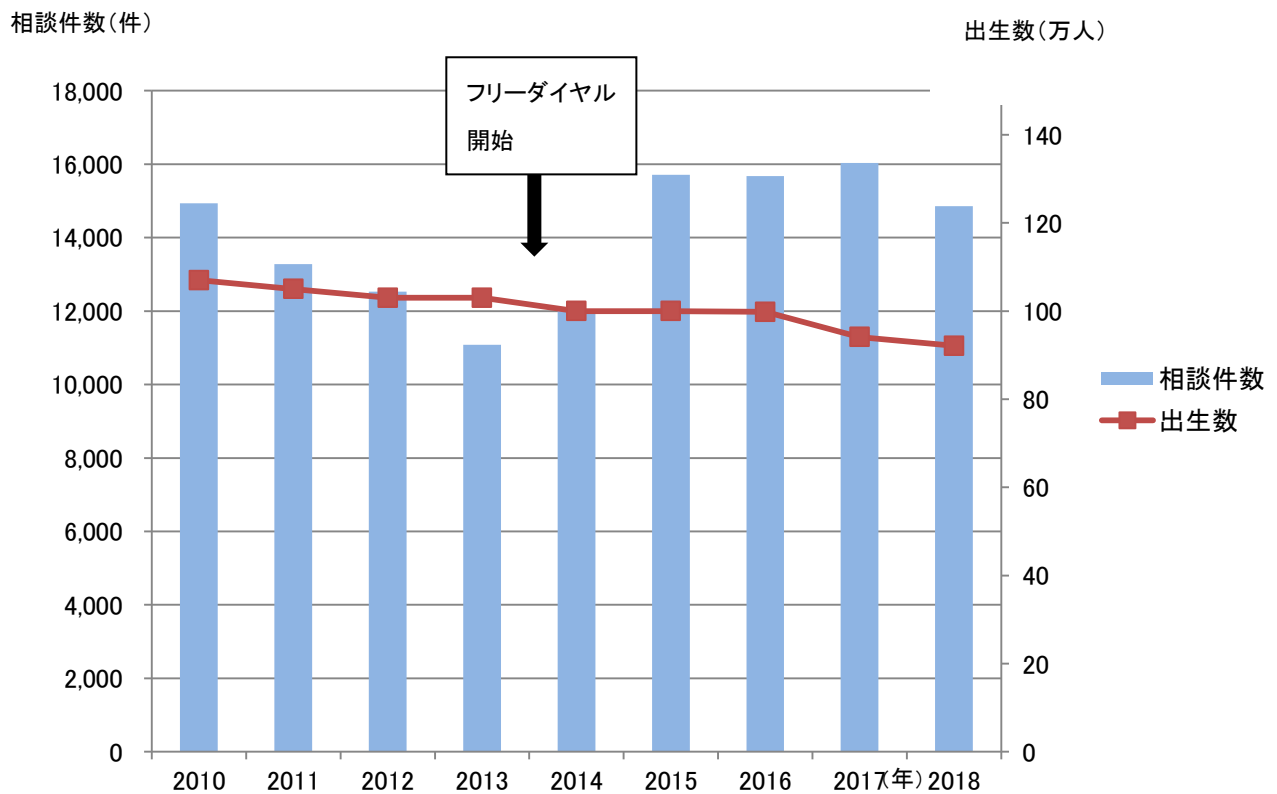
今回のテーマ「2018年 年間統計」

2018年出生数は3年連続で100万人を切る。相談件数は減少も相談時間は延長

2018年エンゼル110番で受けた相談件数は14,859件です。1ヵ月平均では1,238件、1日当たりでは50.5件でした。

出生数は厚生労働省人口動態統計(推計)によると、2016年から3年連続で100万人を割り92万人(前年比97.3%)とさらに減少しました。相談件数も前年から1,178件(前年比92.7%)減少しました(図1)。ただし、1件当たりの相談時間は長くなっています。

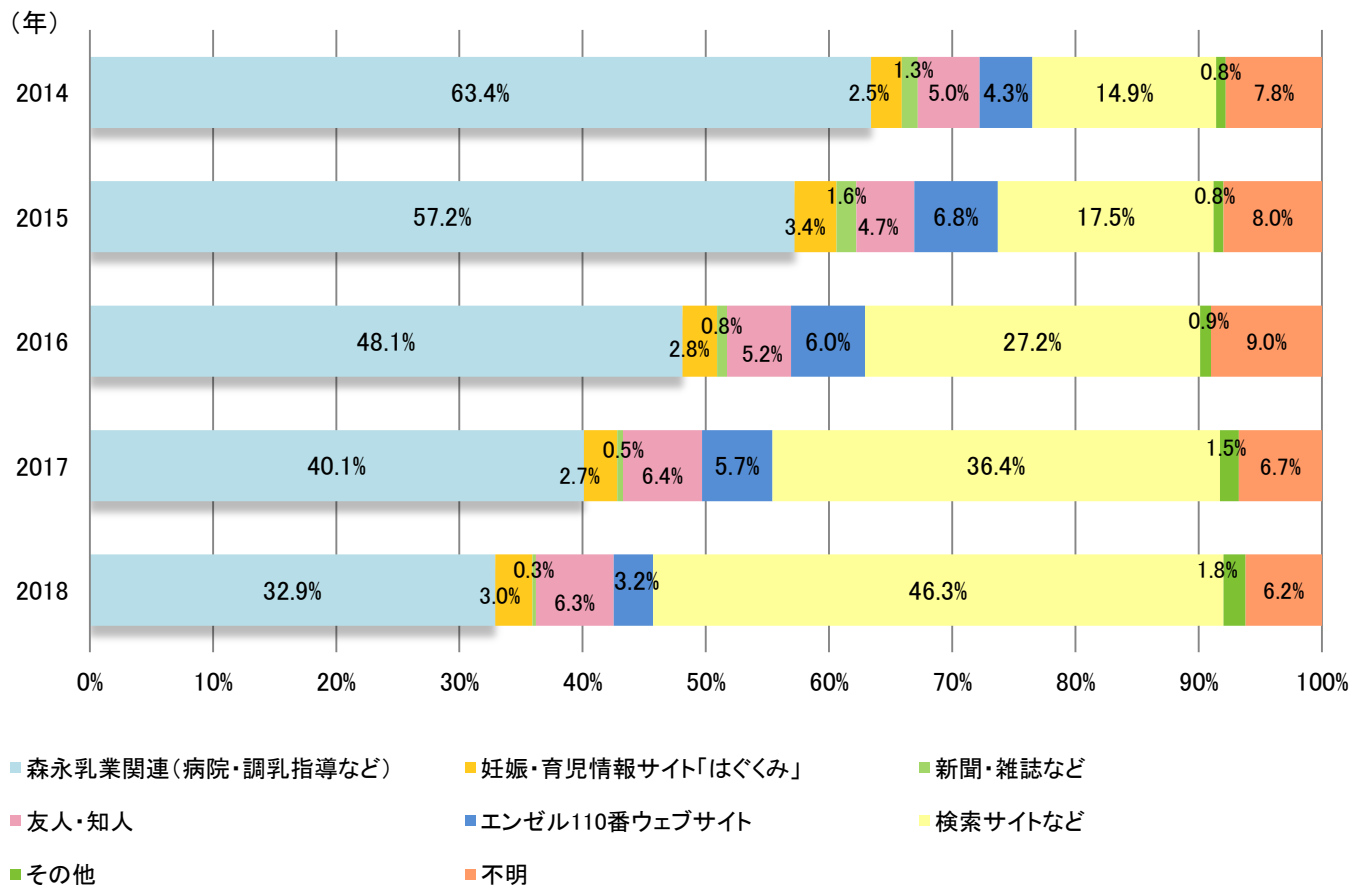
図1 相談件数と出生数(2010~2018年)



インターネットで「無料育児相談」と検索

エンゼル 110 番の認知経路としては、「検索サイトなど」が最も多く 46.3%を占めました(図 2)。一方で 2014 年に 63.4%だった森永乳業関連(病院・調乳指導などで配布しているパンフレットや育児日記)は 32.9%と半減しました。

図 2 認知経路(2014～2018 年)



ママからの相談が 95.9%を占めるも、パパからの相談もじわじわ増加

相談者は 95.9%がママで、そのうち 30 歳代が 56.7%と半数を超えています。(図 3, 4)
 また、少数派にはなりますが、パパからの相談もじわじわと増えており、全体を占める割合もパパの件数を取り始めた 2004 年の約 3 倍に伸長しました (図 5)。

図 3 相談者の属性(2018 年)

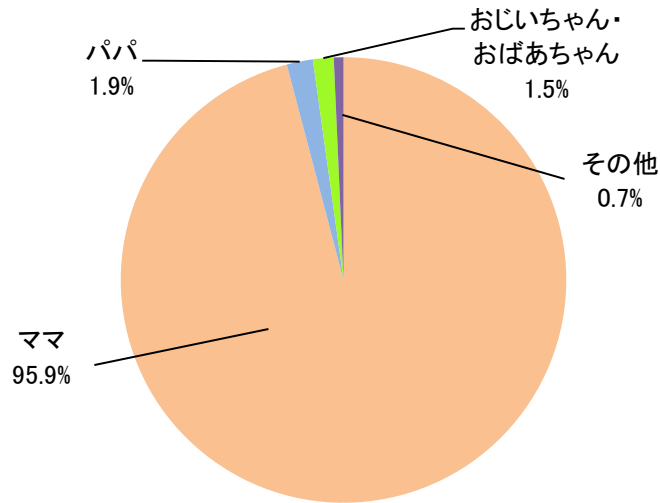


図 4 ママの年齢推移(2014~2018 年)

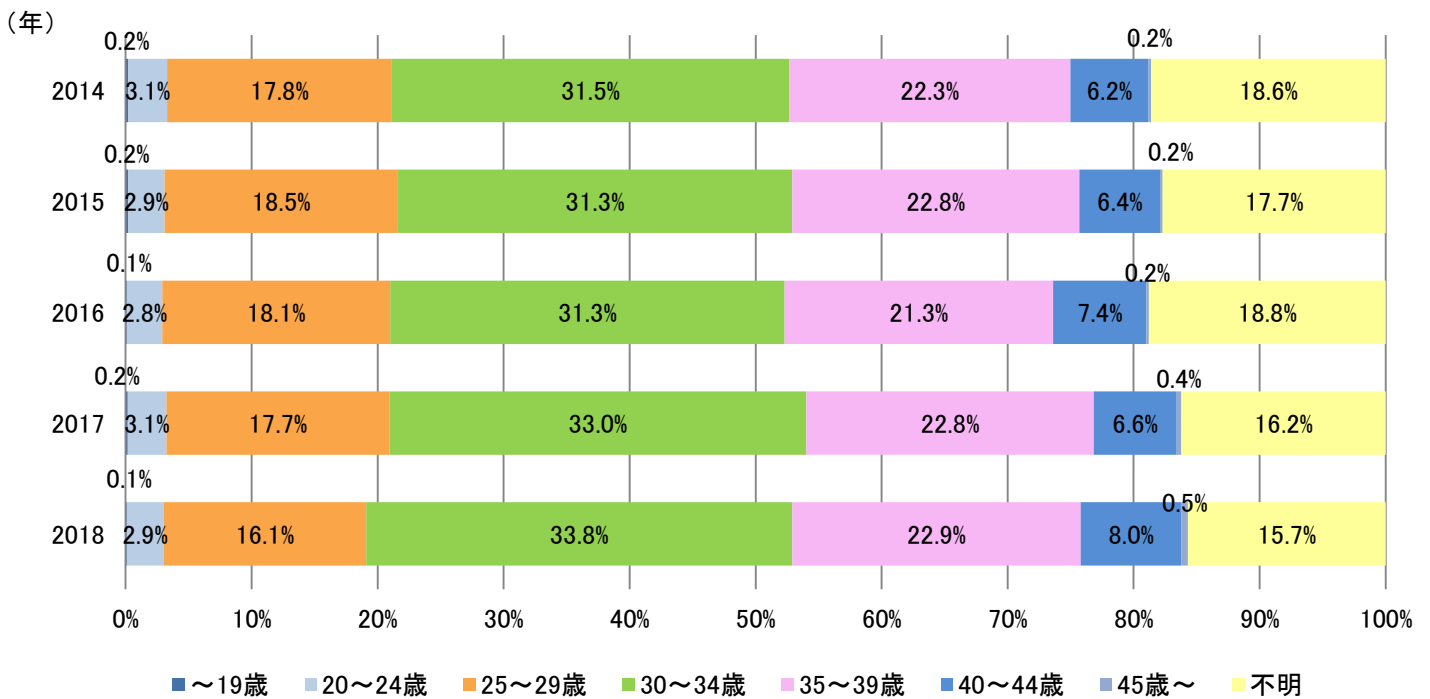
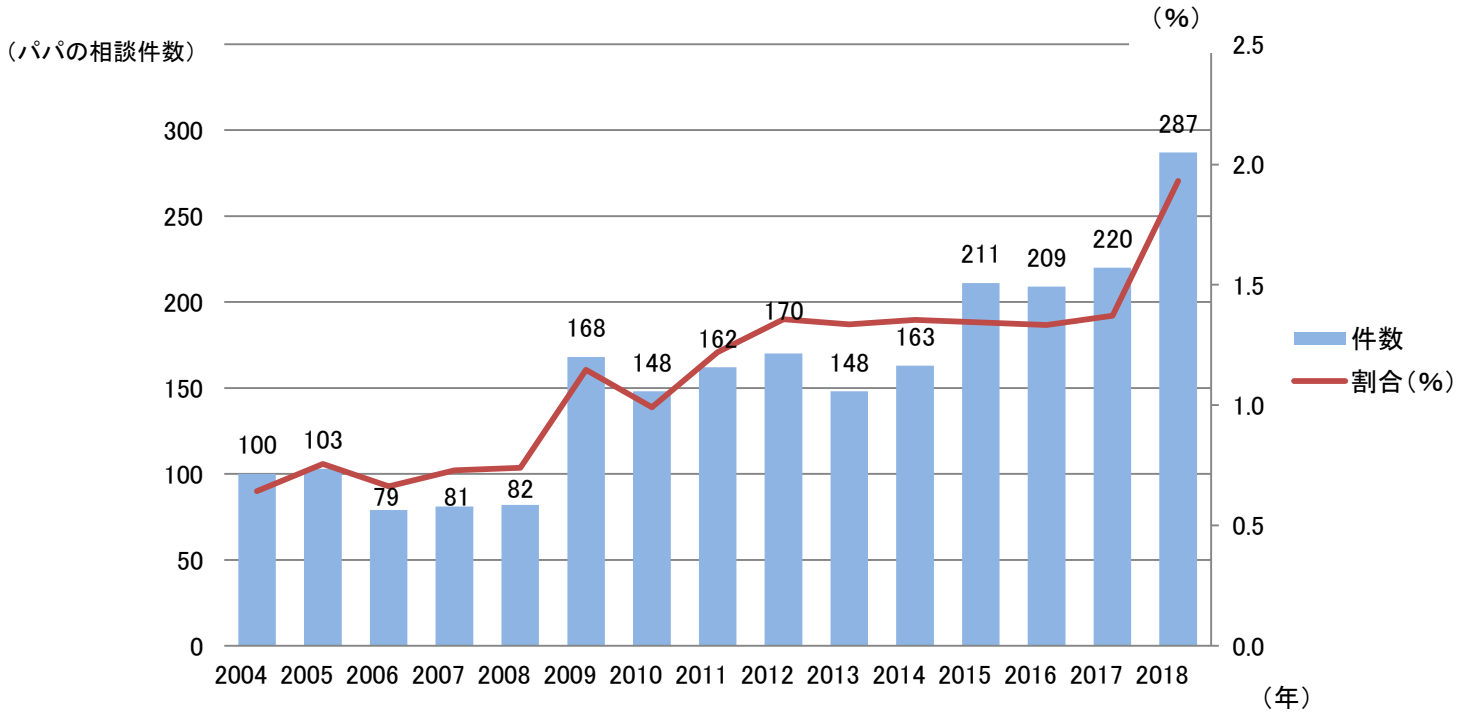


図5 パパの相談割合(2004~2018年)



【こんなパパからの相談がありました】

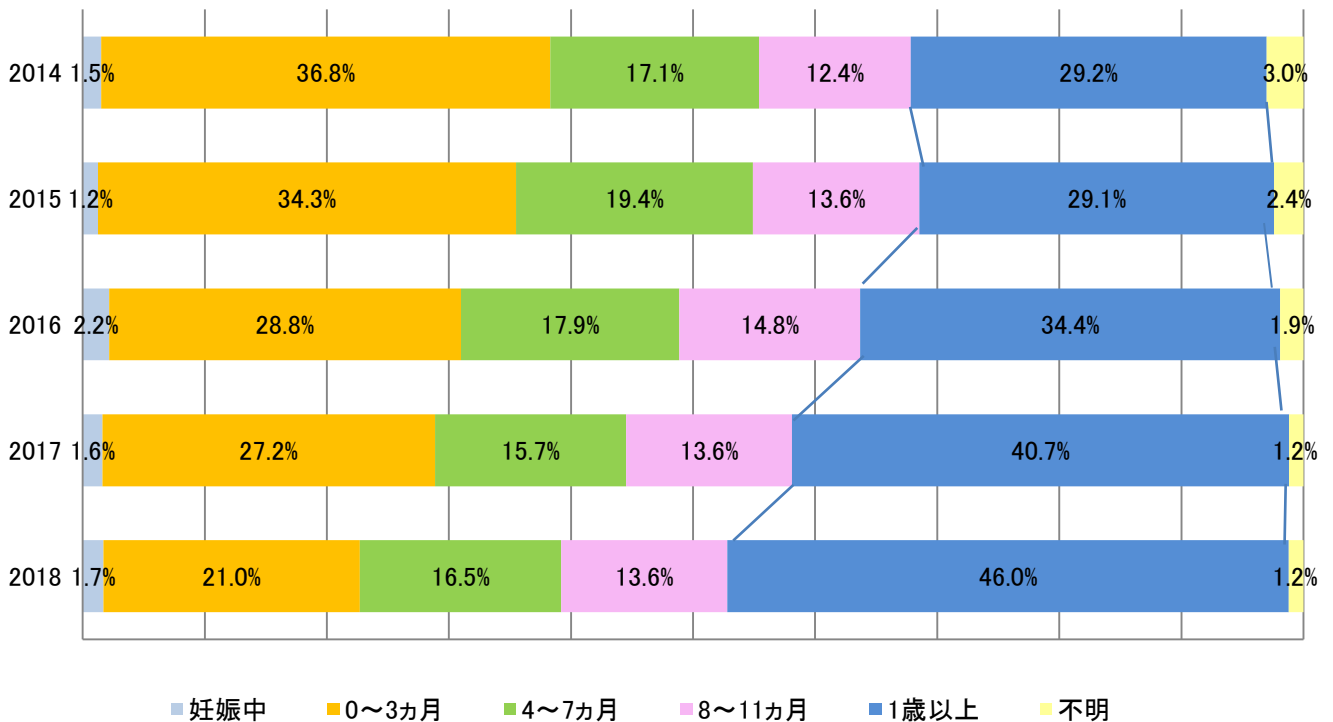
- 妻にママ友ができません。もともと一人であるのが好きなタイプですが、ママ友は欲しいと思っているようです。習い事やサークルなど、いろいろすすめてみますが、1回きりで「もう行かない」と言います。
- 保育園に行っている長男が、自宅で食事を吐きます。妻は長男が小柄なこと心配して無理やり食べさせていますが、一般的には、どう対応するのが良いのでしょうか？
- 下の子が生まれてから、上の子にやさしくできなくなりました。下の子は手がかからず、かわいいですが、上は反抗的になってきました。子どもへの対応に差が出てきて「問題だ」と周囲から言われます。
- 子どもの離乳食をそろそろ始めたいのですが、もうすぐ連休で病院が休みになります。そういう時は連休明けからスタートさせた方がよいのでしょうか？
- 新生児けいれんの見分け方を教えてください。
- 気に入らなかつたり自分の意思が通らなかつたりすると、妻や僕を噛んできます。これは普通でしょうか？将来、乱暴な子にならないか心配です。

さらに増える1歳以上の相談

1975年のエンゼル110番開設以来40年間、月齢0～3ヵ月までの低月齢の相談が全体の3分の1を占めていましたが、2016年から減少し、1歳以上が大幅に増加する傾向が続いています。2018年には月齢0～3ヵ月までが21.0%となった一方、1歳以上が46%を占めました(図6)。

図6 子どもの月齢(年齢)別割合の推移(2014～2018年)

(年)



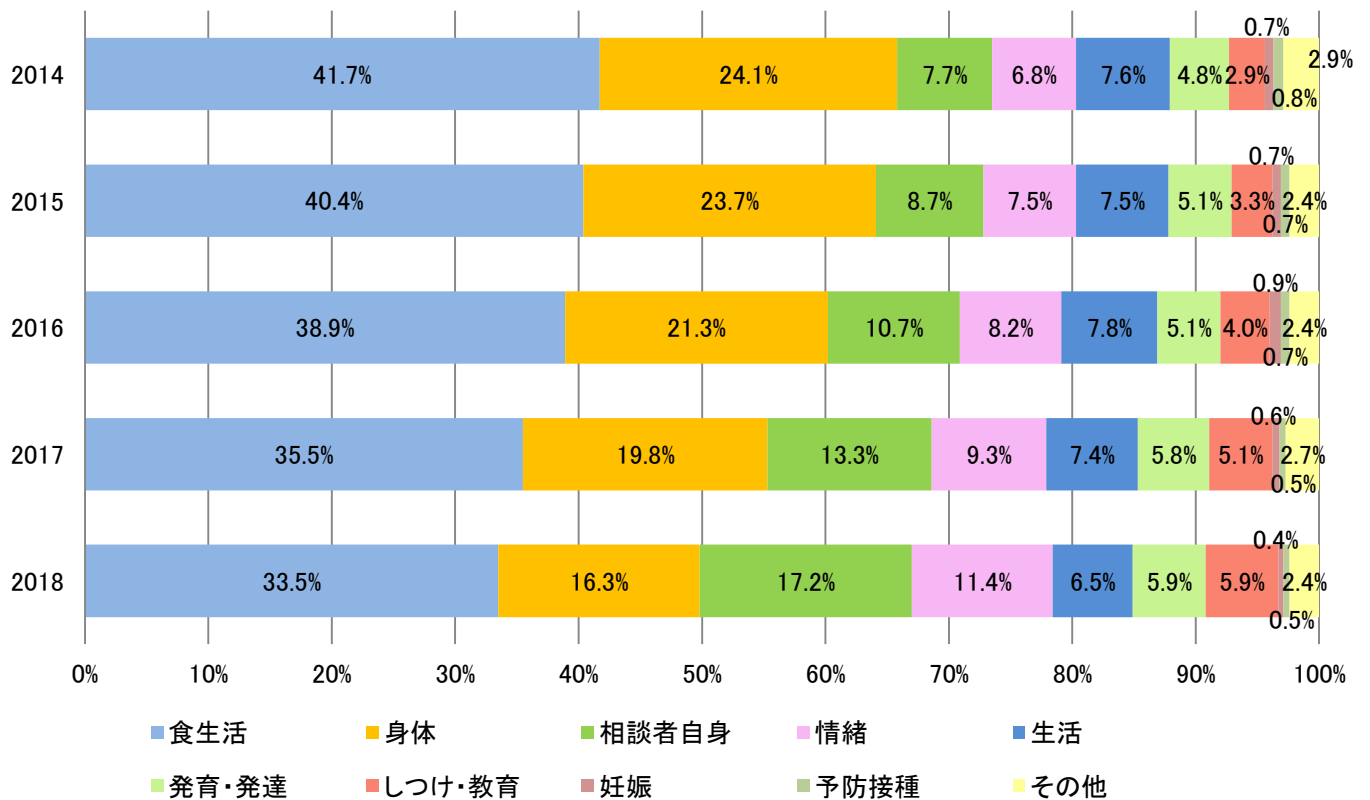
2018年4月の新聞の投書欄に「何をするのにも嫌がる2歳前後の時期を指す『イヤイヤ期』。呼び方を変えませんか」という投書が載り反響がありましたが、ママたちの間ではやはり『イヤイヤ期』が腑に落ちるようです。エンゼル110番にも『イヤイヤ期』に関する相談は非常に多く、たとえば「シングルマザーで、子どもはイヤイヤ期。保育園ではいい子だが、家ではママを叩く」「イヤイヤ期が続き、毎日子どもとのバトルで疲れ、自分を責めてしまう。子どもと同じ土俵で戦っている感じ」といった声が寄せられています。

ママ、パパ自身の相談も増加傾向

エンゼル 110 番では、寄せられた相談の内容を、大分類と小分類に分けて統計を取っています。

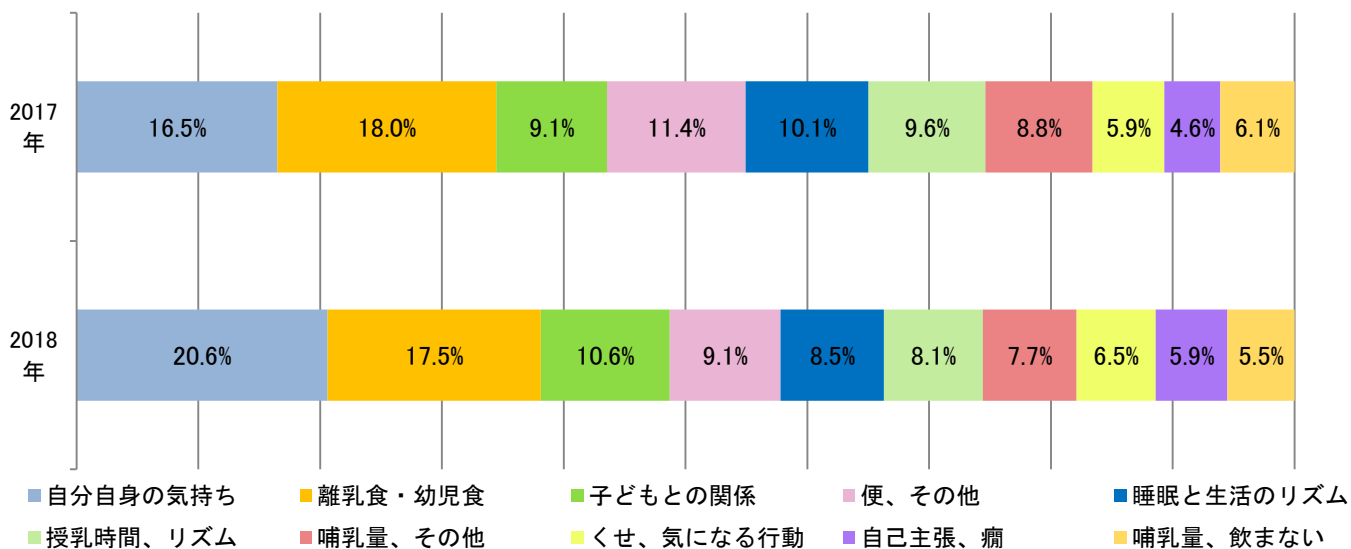
大分類では、授乳や離乳食などに関する「食生活」が開設以来常に最も多い相談ですが、全体に占める割合が毎年減少しています。その一方で「相談者自身」「情緒」が増加し、特に「相談者自身」の相談は 2018 年には 17.2%になり、全体に占める割合が「食生活」に次ぎ 2 番目に多くなっています(図 7)。

図 7 相談内容(大分類)割合の変化(2014~2018 年)



そして、相談内容の小分類で最も多かったのが「自分自身のメンタル・気持ち」が 20.6%で、次いで「離乳食・幼児食」が 17.5%、3 番目が「子どもとの関係」で 10.6%でした。トップ 3 のうち 1 位と 3 位を「相談者自身」の小分類が占めました。特に「自分自身のメンタル・気持ち」は相談件数自体が前年比 92.7%と減少しているにもかかわらず、前年比 124.8%と大きく増加しました。他にも「くせ・気になる行動」「自己主張・癩」といった小分類が増加しています(図 8)。

図 8 相談内容(小分類)の上位 10 項目比較(2017~2018 年)



災害と子育て

昨年末、2018年の漢字は「災」と発表されましたが、振り返ると地震、豪雨、台風、猛暑などの自然災害の脅威を痛感した一年でした。

大阪や北海道で発生した大きな地震のあとには、「友人のいる地域がお湯を沸かせない状態。赤ちゃんの水で、沸騰させずに調乳してもよいか」、「防災用品を備えている。“はぐくみ”のサイトを参考にしているが、ミルクは缶ではなくエコらくパックでもよいか」、「水道水がドロドロで使えない。粉ミルクを作るのにミネラルウォーターを使ってよいか」といったミルクや調乳についての相談が寄せられました。

また、「地震があってから、寝ると冷や汗をかいている。布団で寝るのも嫌がる」「地震の後、1週間経ってから5歳の娘がヨーグルトやゼリーしか食べられなくなった。」といった子どもの変化についての相談もありました。災害の発生から少し落ち着いて、ほっとしたタイミングで夜泣きが始まったり、おもらしがあったりします。そのことをお伝えして、無理強いをせずに様子を見るのが一番の薬になるとお話ししました。

そして、7月は平均気温が非常に高くなり、「猛暑」を超え「酷暑」という表現がふさわしいような日々が続きました。赤ちゃんもたくさん汗をかくからか、「夏は尿が減ると聞くと、昨夜8時半に寝て今朝6時に起きたときにおむつが濡れていなかった。脱水が心配」(5ヵ月)「昨夜、母乳の後にミルクを60ml飲んだが、朝5時に母乳を飲ませた時におしっこが出ていなかった」(3ヵ月)など、月齢の小さな赤ちゃんでも夜間排尿がないという相談が度々ありました。いずれも朝の授乳後に排尿があり、機嫌もよく過ごしていて心配のないケースでしたが、ママたちの心配な気持ちが伝わってきました。

災害発生時は電話も使えないことも考えられます。有効な情報はWebサイトなどとおして、できるだけ発信していきたいと思います。

まとめ

インターネットが普及し、育児のノウハウは検索することが容易になりました。また、SNSや利用者参加型のアプリで、他のママやパパの意見や体験を知ることは可能です。しかし、相談の電話がなくなることはありません。それは不安やイライラなどの感情は、実際に話すことで整理ができたり、会話の中で共感されたり、認められたりすることで解消されていくからでしょう。子育て中の悩みは、育児のノウハウだけでは乗り切れません。どうしても、子どもや家族との関わりにはさまざまな感情を伴います。そういった意味で、電話というツールはこれからも利用され続けていくのではないのでしょうか。これからも子育てについての価値観は多様化し、さまざまなご相談が寄せられると思われますが、相談員一同真摯に取り組んでいきます。

エンゼル110番レポートのバックナンバー

第1号 (93/4月) 『離乳食』	第37号 (02/9月) 『テレビやビデオをどのように見せていますか』
第2号 (93/7月) 『初めての泊まりがけ旅行』	第38号 (03/1月) 『夫の育児参加と妻の満足度 (その2)』
第3号 (93/10月) 『胎教』	第39号 (03/4月) 『子育てにインターネットを活用していますか?』
第4号 (94/1月) 『お年玉』	第40号 (03/7月) 『子育てコストとママの生活満足度』
第5号 (94/5月) 『夫の育児参加と妻の満足度』	第41号 (03/12月) 『ママたちの育児スタートー産後に望む支援サービス』
第6号 (94/8月) 『妊娠中の食事について』	第42号 (04/4月) 『子育てママの喫煙・禁煙』
第7号 (94/11月) 『育児雑誌を読みますか』	第43号 (04/9月) 『信頼できる育児の情報源とママたちの満足度』
第8号 (95/2月) 『早期教育は必要ですか』	第44号 (04/11月) 『ママたちの産院選びと立会い出産の実態』
第9号 (95/5月) 『赤ちゃんのアレルギー、気になりますか?』	第45号 (05/3月) 『妻の実家・夫の実家、どう付き合っていますか?』
第10号 (95/8月) 『どんな出産をされましたか』	第46号 (05/7月) 『赤ちゃんのアレルギー、気になりますか?』
開設20周年記念冊子 (96/10月) 『60万件の電話相談から』	第47号 (05/11月) 『赤ちゃんをだっこした経験ありましたか?』
第11号 (95/11月) 『子育て費用をどう考えますか』	第48号 (06/4月) 『子育てママの携帯電話活用法』
第12号 (96/2月) 『子どものこと夫婦で話していますか』	第49号 (06/7月) 『子ども連れで初めての泊りがけ旅行』
第13号 (96/10月) 『赤ちゃんをだっこした経験ありましたか』	第50号 (06/11月) 『子どもは何人ほしい?』
第14号 (96/12月) 『理想の父親像と母親像』	第51号 (07/2月) 『子どもに習い事をさせますか?』
第15号 (97/4月) 『子育て中のお母さんの自由時間』	第52号 (07/8月) 『「3歳児神話」をしていますか?』
第16号 (97/6月) 『子どもを預けたことはありますか』	第53号 (08/1月) 『子どもを預けたことはありますか? (その2)』
第17号 (97/9月) 『子育て中のストレス解消法』	第54号 (08/4月) 『「お母さんになった」など初めて感じたのは?』
第18号 (97/12月) 『かかりつけのお医者選び』	第55号 (08/9月) 『結婚前の料理経験はどれくらいですか?』
第19号 (98/4月) 『「格好いいお母さん」が当たり前?』	第56号 (09/1月) 『ここが困った! 子連れ外出事情』
第20号 (98/6月) 『35歳からの子育て』	第57号 (09/5月) 『不況に負けない! ママの明るい節約術』
第21号 (98/9月) 『これからはママもパソコン使います』	第58号 (09/9月) 『孫育て』
第22号 (98/12月) 『35歳からの子育て パートII』	第59号 (09/11月) 『ママ友とおつきあい、どうしてますか?』
第23号 (99/3月) 『実家とどうつきあっていますか』	第60号 (10/5月) 『夕飯の献立どうやって考えていますか?』
第24号 (99/6月) 『子どものアレルギーについて』	第61号 (10/8月) 『子育て支援で、本当にしてほしいことは?』
第25号 (99/9月) 『子ども連れのお母さんが見た街作り』	第62号 (10/11月) 『パパはイクメンですか?』
第26号 (99/12月) 『子育てが楽しいと感じる時』	第63号 (11/2月) 『35年で変わったこと、変わらなかったこと』
第27号 (2000/3月) 『離乳食は得意ですか』	第64号 (11/5月) 『育児日記をつけていますか?』
第28号 (00/6月) 『子育て仲間はどこで見つけましたか?』	第65号 (11/9月) 『ママたちの節電対策』
第29号 (00/9月) 『子連れで海外旅行に行きましたか?』	第66号 (12/1月) 『今、大切にしたいもの』
開設25周年記念冊子 (00/10月) 『医療関係者向アドバイスブック』	第67号 (12/6月) 『育児で心配になったきっかけとその解決方法』
第30号 (00/12月) 『私たちのミレニアム・ベビー』	第68号 (12/11月) 『子育てママのお正月』
第31号 (01/3月) 『ママたちのIT革命』	第69号 (13/3月) 『名づけ』
第32号 (01/6月) 『子どもが生まれて夫婦関係が変わりましたか?』	第70号 (14/5月) 『赤ちゃんを抱っこしたことはありましたか?』
第33号 (01/9月) 『妊娠してからの食生活の変化』	第71号 (14/12月) 『母乳への意識』
第34号 (01/12月) 『絵本の読み聞かせをしていますか』	第72号 (15/4月) 『現代のママ事情』
第35号 (02/3月) 『育児日記をつけてますか』	第73号 (15/7月) 『「食べない子」「食べすぎる子」のママの悩み』
第36号 (02/6月) 『ママたちの再就職事情』	第74号 (15/9月) 『子育てしやすい街の条件』

エンゼル110番レポートのバックナンバー

第75号（15/11月）『働くママの気持ちと職場の理解』

第76号（16/6月）『ママたちが活用しているアプリは？』

第77号（17/1月）『結婚前の料理経験はどのくらいですか？』

第78号（17/7月）『なぜ、今「電話相談」なのか』

第79号（17/11月）『ママ達のストレスとその解消法』

第80号（18/3月）『2017年 年間統計』

第81号（18/8月）『ママたちの育児スタートは？』